



中島根

平成28年9月30日
足立区立中島根小学校
校長 武井利依
平成28年度10月号

しのたま けん み ひと おも
子曰わく、賢を見ては吝しからんことを思い、

ふけん み うち みずか かえり
不賢を見ては内に自ら省みる。

校長 武井利依

リオパラリンピックでは、自分の体の一部のように車イスを操ったり、伴走者と一心同体で挑戦したり、パラリンピアン活躍に感動を受けました。また、パラリンピック独特の競技にも興味が湧き、体験してみたいと思いました。リオ五輪を通して、オリンピックもパラリンピアンも互いに切磋琢磨し合う仲間がいることが感動をより深いものとしてくれました。

大相撲秋場所では、今場所で大関からの陥落の可能性があった豪栄道関が全勝で初の賜杯を手に入れました。カド番からの全勝優勝も初めての記録だそうです。今年に入ってから、大相撲は盛り上がりを見せ、初場所では琴奨菊関が優勝、ここ3場所続いて稀勢の里関の綱取りへの挑戦、と大関陣の目覚ましい活躍が続いていました。两大関とも横綱に王手をかけながら足踏みしているさなかでの今場所での豪栄道関の快挙となりました。これこそ、互いに切磋琢磨し合い高め合ってきたからこそ成し得たのだと感じます。

9月の始めには、6年生83名全員が日光自然教室を通して大きく成長しました。寝食をともにする中で、互いの良さを発見し、感化され、高め合う貴重な時間となりました。今、新たな目標である10月4日(火)に行われる連合運動会に向けて励まし合い協力し合っています。

冒頭の論語の章句は「賢明な人を見れば同じようになろうと思い、賢明でない人を見れば、自分もそうではなからうかと省みることだ。」とおっしゃったという内容です。同じように良くなろうと自分を良くする鑑(かがみ)として他の人の言動を見ることが出来る人は伸びていくものです。一方、優れた人に出会っても「あの人だからできる」「目標にするようなことではない」と自分の手本にしない、感心しない行いをしている人には「愚かな行いだ」としてその人の立場になって想像し、自分自身に置き換えることに思いが至らないものです。自分とは関係がないと距離を置いてしまい成長できず、周囲の人間と切磋琢磨することができません。賢明な人は、自分より秀でている人を見れば、その良さを学ぼうとします。愚かな行動をしている人を見れば、自分の行動を振り返ります。こういう人は周囲の人間と切磋琢磨の関係を築ることができるとともに、すでに自分を磨く砥石を見つけ活用しているのです。

先週の土曜授業の日まで「夏休み作品展」が行われていました。それぞれの思いや考えが込められた作品を見て、どんな思いで取り組んだのか、どんな工夫をしたのか、改良したいことは何か、など聞いてみたいことが思い浮かびました。きっと、作品を見た友達も聞いたかったことがあったことでしょう。見て感じたことを自分から発信し、さらに深く関わりをもとうとする仲間であってほしいものです。秋の深まりとともに、どうぞ、ご家庭でもお子さんと一歩踏み込んだ話をする機会を設け、切磋琢磨し合える仲間の存在を感じていただきたいです。

10月の生活目標：進んで学習に取り組みましょう。

10月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4 SC 連合運動会 (6年)	5	6 社会科見学 (4年) 短縮時程・補習	7 前期終業式 連合運動会予備日	8 中島根保育園 運動会
9	10 体育の日	11 SC・SSW 後期始業式 学校公開始 薬物乱用教室 (6年)	12 自転車交通安 全教室(3年)	13 セーフティ教 室(1~3年) 歯みがき指導 (4年)	14 SC 学校説明会	15 土曜授業 避難訓練 起震車体験 (6年) 鋸南説明会 (5年)
16	17 たてわり班活動 視力1年	18 SC 視力2年	19 クラブ活動 視力3年	20 交通安全教室 (1・2年) 視力4年 短縮時程・補習	21 SC 遠足1・2年 脊柱側わん検診 (5年)	22 足立区陸上大 会(6年) あだち 西保木間小20 周年
23	24 委員会活動 視力5年	25 SSW 読書旬間始 視力6年 遠足予備日	26 あだち	27 短縮時程・補習	28 SC	29 緑を育む会
30 中島根 まつり	31	※SCはスクールカウンセラー、SSWはスクールソーシャルワーカー来校の日です。 「あだち」はあだち小学生基礎学習教室です。				

落語教室～落語に親しもう～

9月24日(土)は土曜授業でした。オリンピック・パラリンピック教育の一環としての日本の伝統芸能に親しむ機会を設けました。

今年も足立区出身の 林家 たけ平 さんによる落語教室を行いました。2校時には、4年生が落語の所作などを詳しく学びました。3校時には、5・6年生が落語の世界をさらに身近に感じ、堪能することが出来ました。図書室の畳の上に設けた高座でのたけ平師匠の熱演に引き込まれ、奥深さを感じたひとときとなりました。

多くの保護者や地域の方々にも、落語を存分に堪能していただいたことと思います。



日光自然教室を終えて

第6学年担任
中村 理恵子

9月5日から7日まで6年生は日光自然教室へ行ってきました。夏休みが明けてすぐということで生活リズムを戻せるか、体調管理などの心配もありましたが、出発の朝、83名全員の元気な顔を確認することが出来ました。

一日目の足尾銅山では足尾の山がたどってきた歴史を学び、植樹体験をしました。その後は日光伝統の「日光彫り」を体験。皆真剣な表情で彫っている姿が印象的でした。学園に着いて入園式を終え、夕食後はレク大会でたくさん笑ってたくさん動き、消灯後はあっという間に夢の中でした。



二日目は戦場ヶ原オリエンテーリングです。

天気にも恵まれ、行動班ごとに協力してゴールを目指しました。長い道のりを歩ききった子どもたちの表情は、喜びや感動に満ちあふれていました。夜のキャンプファイヤーでは校長先生扮する火の女神と4人の火の神に誓いを立て、全員による「バーニング」のかけ声で薪に炎が輝きました。心を一つにしてダンスを踊り、その後のナイトハイクでは都会とは違う明かりの少ない山の道をドキドキしながら歩ききりました。

三日目には世界遺産である日光東照宮を見学しました。眠り猫や鳴き龍など事前学習を生かし、班で協力しながらオリエンテーリングを進めることができました。昼食後は、お家の人へのお土産を「何がいいかな。」と悩みながら選び、納得のいく買い物ができるようです。帰りのバスでは疲れて寝る子が多いという予想に反してレク係の子が考えて選んだDVDに目が釘付けで、最後まで元気な子供たちでした。

83名大きなけがや事故もなく無事三日間を過ごすことができました。

6年生としての学校生活もいよいよ後半戦です。今後も連合運動会など6年生としての行事がたくさんあります。この三日間で学び得たことを活かしながら、さらなる成長を目指していきたいと思います。



大学遠足

第4学年担任
八百 秀明

9月2日、4年生は大学遠足へ行ってきました。山梨県まで行くので、6時45分という早い集合でしたが、予定通りに出発しました。

「大学遠足」とは、小学生を対象として、大学という未知のものを身近に感じてもらうために、帝京科学大学が開発した体験型教育プログラムの名称です。



普段かかわることの出来ない大学の<ひと・もの・場所>などに大学生と行動を共にしながら触れ合う機会を提供することを目的としています。

4年生は、山梨県上野原市の旧桜井小学校を中心に、上野原の自然に触れつつ、山や動物など生き物の自然

について大学生と一緒に楽しみながら学んできました。直前の台風の影響で川が増水していて、川に行くことはできませんでしたが、様々な自然体験ができました。付近の虫を観察し、植物について教えてもらいました。山の様子を双眼鏡で見て、身近な水に住む微生物を顕微鏡で観察しました。更に、液体窒素を使った実験を目の当たりにするなど、興味・関心をもって多くの活動に取り組んでいました。

今回の大学遠足では、「あいさつをしっかりする」「自然を楽しむ」「思い出をたくさん作る」という3つの目標をもって参加しました。学校に帰ってきたとき、3つの目標を達成できた児童がたくさんいて、充実した大学遠足になりました。

後日お礼の手紙を書き、「これからは自然を大切にしたいです。」「また山梨県に行きたいです。」などの言葉が多く見られました。普段東京では体験することのできない貴重な学習ができたので、今後の学習や生活に生かしていきます。

